

登録コード	A3593337	開講年度	2026				
授業科目	専攻演習					担当教員	諸白 家奈子
英文授業名	Selected Seminar						
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年生（研究室配属学生）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				最新の生殖学研究に関する英語論文を理解することができる。		
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				多角的な視点から動物生殖科学の今後を議論することができる		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				最新の生殖学研究に関する英語論文を理解することができる。		
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				多角的な視点から動物生殖科学の今後を議論することができる		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	動物の生命現象や、動物生産を取り巻く環境についての英語文献および課題図書を読解し、多角的な視点から動物生殖科学の今後を授業参加者および教員と議論する。						
(5)授業計画	第1-6回．動物の生命現象や、動物生産に関連した論文および課題図書を読解し、 授業参加者と議論を行う。 第7-15回．1.での理解を元に、動物生殖科学分野の将来的な研究内容についてどのようなものが考えられるか自分の考えをプレゼンテーションする。第15回の最後に授業アンケートを実施します。						
(6)自主学習の指針	動物生殖科学分野およびそれに付随する論文や専門書を積極的に読むこと。						
(7)成績評価の基準	1）動物生殖科学分野およびそれに付随する論文を幅広く読み、2)議論等を積極的に行い、3)自分の考えを論理的にプレゼンテーションすることが求められる。1）～3）が十分に達成できていれば、かなり上にある、概ね達成できていれば、やや上にある、基本事項が達成できていれば、水準に達している。						
(8)事前事後学習の内容	事前学習として自分の発表の準備、特にスライドの作成を行って下さい。また他の参加者の事前資料などを熟読し、不明点や疑問点を明確にしておいて下さい。						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	授業計画に挙げた内容に対する取り組みの成果を総合的に判断して評価する。 評価基準： S：90-100，A：80-89，B：70-79，C：60-69，D：59以下						
(11)質問、相談への対応および連絡先	担当教員が随時、質問等に応じる。						
(12)履修上の注意	特になし						
【教科書】	特になし						
【参考書】	特になし						